

十二月二十九日、恒例のお餅つきを行いました。

機械ではなく、昔ながらの方法の杵と臼でお餅をつきます。ふかしたての熱々の餅米からただよう湯気はとてもいいにおいがします。

「ヨイシヨッター」という力強いかけ声で檀家の

皆様の一年間の苦を吹き飛ばし、新しい年が良

い年となるよう祈りを込めてつきました。



御供えのお餅やお正月に食べるお餅をみんなで形作りました。子供達もいて賑やかなお餅つきになりました。



東円寺
かわら版 ~年末号~

大晦日 除夜の鐘



十二月三十一日、極寒の中、たくさんの

方が除夜の鐘を撞きに來られました。鐘

の音が鳴り響くと一年の終わり、新しい

年の始まりを体感できます。煩惱を取り

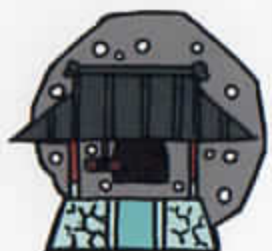
払い新たな気持ちで新年の出発です！

寒さに負けないよう毎年あたたかい、

けんちん汁・甘酒を振る舞っています。

お寺の物を食べると風邪をひかないと

昔から言われています。



平成24年度

初不動交通安全・厄除け祈願祭

富士山・鈴原不動尊

東門寺
かわら版

新号

辰

毎年、1月28日には、初不動祈願祭が盛大に行われています。

今年も富士吉田警察署長さんをはじめ、交通安全協会の役員さんや多くの檀信徒の方々が参加して下さいました。

また、開運招福・合格祈願など併せて祈願の護摩を焚いて祈りました。



不動明王の真言を耳にしなが、パチパチという護摩木を燃やす音と立ち上る炎を前に、気が引き締まり、日常とは違う時間を過ごす事ができます。

東円寺



富士山鈴原不動尊

～富士山のお不動さん～



右手には煩惱を
滅つ宝剑

迦楼羅炎

(かるらえん)
毒なる者を焼き尽くす

左手には魔を縛す
羂索 (なわ)

右：矜羯羅童子 (こんがらどうじ)
左：制多迦童子 (せいたかどうじ)

足下の岩は
盤石 (ばんじゃく)
迷いのない安定した心を表す。

恐ろしい姿をしているが、その心は人々を救済しようとする厳しくも優しい慈愛にみちています。
念ずる人の願いによってどんな利益でも受ける事ができると言われています。

「富士山のお不動さん」

の由緒(言い伝え)

東円寺のお不動様は、江戸時代までは、富士山の一合目、鈴原大日堂に安置されていました。

明治の廃仏毀釈の時に富士山より下ろされ、上吉田（富士吉田市）の稲田氏・小佐野氏・持田氏の3名がお堂を建てて祀っていました。

ある日、稲田氏はこの不動像が『私は、忍草山（東円寺）に移りたい』という不思議な夢を見ました。驚いて他の2人にも話したところ他の2人も同じ夢を見たと言います。そこで東円寺に安置したとの資料が残っています。

東円寺には、「富士山のお不動さん」の他に次の2体のお不動さんが祀られています。



海沢不動尊（うみざわふどうそん）
忍草海沢温泉に祀られていました。
温泉の廃業の時に東円寺に遷座されました。



富士見不動尊（ふじみふどうそん）
西桂町の小沼部落に祀られていました。
平成10年3月に東円寺に遷座されました。